

宜基渉第 74 号
令和 3 年 11 月 26 日

外務省沖縄事務所 特命全権大使（沖縄担当）
橋本 尚文 殿

宜野湾市長 松川 正則

MV-22 オスプレイからの落下物について（抗議・要請）

11 月 23 日、米軍普天間基地に所属する MV-22 オスプレイから、飛行中に水筒を落下させる事故が発生しました。

これまでも、普天間基地所属機による事故については、その度、実効性のある再発防止を要請しているにも拘らず、今回の事故が発生した事に、強い憤りを禁じ得ません。

これまでのところ、けが人などの報告は受けておりませんが、市街地に囲まれ、「世界一危険」といわれる普天間基地の運用では、いかなるトラブルであっても人命にかかわる大惨事に繋がりがねません。

本市はこれまでも普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を訴え続けてきましたが、返還合意から 25 年経過するなか、今回の事故が起き、今なお市民並びに県民の生命が脅かされている現状が改めて浮き彫りとなりました。

については、今回の落下物事故に、強く抗議するとともに、米軍に対し、事故原因を明らかにし、確実な再発防止策を講じるよう求めます。

また、問題の抜本的解決のためにも、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と速やかな運用停止をはじめとする、返還までの間の普天間飛行場の危険性除去及び基地負担軽減を着実に実現するよう強く要請いたします。